

KSKR  
NO.24



# パンジー だより 青山正

発行 1997年9月  
編集 クリエイトハウス  
“パンジー”

夏休みも終わり、秋の気配を感じるようになりました。パンジーでは、富山での全障連大会や講演会など出かける日々が続いています。

そのようなあわただしい日々の合間をぬって、先日、グループホームの人たちと、徳島県の「若竹通勤寮」を見学してきました。そこは、結婚をしている知的障害を持つ人たちが多くいることで知られているところです。とても気さくに迎えていただき、夜中まで話はずみしました。お互いを気遣いながら仲良く暮らしている姿を見て、パンジーの人たちも「なかええなー」とうらやましそうに言っていました。

ともするとタブーとされがちな結婚や性に関することを、職員の支援や地域の理解のもと、自分たちの生活を自分たちで築き、エンジョイしている姿を見せていただき、支援していくことがこういう形で実を結ぶのかと思うと、とても力づけられました。

また、8月の初旬に、「サングループ事件」にかかわっている今井さんに来ていただきました。サングループという肩パットを作る会社で、知的障害を持つ人たちが社長であった和田被告に暴力を受けたり、給料を支払われなかったり年金をだましとられたりという虐待を受ける中で死んでいった人がいることや、事実を知っていた行政機関がなんの助けもしてくれなかったこと、そして今、裁判をしていることなどを話してくださいました。みんな真剣に聞き入り、「和田被告は、ぜったい許せない。」と言うIさん、「行政は、もっと障害者の声をきいてほしい。」「二度とこんな事が起こってほしくない。」と言うAさんなど、声を震わせながら話していました。

まだまだ、地域で誰もがあたりまえに暮らせる社会には遠いのかもかもしれません。しかし、当事者自身が新しい経験をする中で、自分の感じていることに気づき表現しようとしている姿をみていると、とても元気づけられます。そして、私も、それぞれの人の個性を大切にしながら、一步步つ前に進んで行こうと思っている今日このごろです。

サングループ事件の当事者用パンフレットを作りました。パンジーにお問い合わせください。  
(たけと)

## 一口食べたらボロボロ、 文句もボロボロ

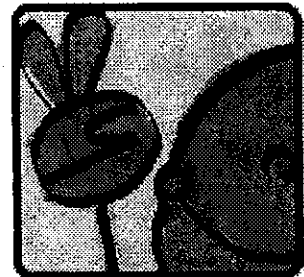
今日はお月見なのに、ただいま日本には台風が来ていて残念です。しかしパンジーの人達は、元気に事故もなくきているのでよかったよかった。

さてみなさん、もうパンジーのパウンドケーキはご賞味されたでしょうか？お客様にはおいしいとおほめいただいているパウンドケーキも、実はとても苦勞して商品になったのです。

パウンドケーキは4月に伊東先生が教えてくれました。伊東先生はパンの先生で、とてもいい人です。先生はその日、とてもおいしいパウンドケーキを作ってくれたのでした。私達は作り方をしっかり教えてもらったはずなのに、自分達だけで作る段階になったとき、まったくうまくいきませんでした。一番苦勞したのはほどよいしっとり感を出すことで、一口食べたらボロボロ、文句もボロボロ（笑）、といった状態をどうにかするのが大変でした。伊東先生のレシピをベースにして甘さを押さえたり、パンジーのオーブンの時間配分を考えたり、20回以上も試行錯誤を繰り返しながら、今のおいしいパウンドケーキになったのでした。ぜったい一度、食べるべきです。ギフトセットも承り中。（ゆきめ）



## 元気が出るTシャツで、 I'm happy!



やっと涼しい風が吹くいい季節になりました。

クリエイティブ部門では今、「元気が出るTシャツ」の営業・販売に力を入れています。このTシャツには「アイム ハッピー」や「私はかっこいい」という言葉と、それをイメージした絵などが描かれていて、着ると本当にハッピーになったり、かっこいいなあという気持ちになったりします。

近隣の小、中学校や近隣の企業などにチラシと原物を持って行って宣伝をして、その場で買ってもらったり、後日に注文が来たり・・・という感じで、毎日営業・販売に出かけています。そのおかげでTシャツは順調に売れ、評判もとてもいいようです。

夏ばてしている人、もっと元気になりたい人、ぜひぜひパンジーのTシャツと一緒に元気になりましょう。  
(はまだ)



この夏、「わくわく活動」では、新しくできた鶴見緑地プールでエンジョイしました。造波プールや流水プール、ウォータースライダー、ジャグジーなど楽しい設備が一杯。メンバー一人ひとりが、自分の気に入った泳ぎ

方・遊び方を見つけて過ごすことができ、よかったと思っています。また、8月2日には、地域の鴻池東小学校がプールを開放してくださいました。午前中、パンジーで調理実習(カレー作り)をしてから、歩いてプールへ。帰ってきてから、保護者からの差し入れのスイカや、手作りかき氷を食べ、普段のわくわくとは少し違った過ごし方をしました。

これまでの経験の中で、自閉症の人たちは「プール」と言えば、バスや地下鉄に乗れるものと楽しみにするので、ホワイトボードを使いながらその日の行動と一緒に確認し、パニックもなく過ごせたことがとても嬉しかったです。

## ❖ 第2回ヘルパー研修会の報告 ❖

7月19日、中新井先生を講師としてお招きして、「コミュニケーションの難しいメンバーとの関わりをめぐって」というテーマで研修会を行いました。今回は、たくさんのヘルパーさんが参加して下さり、充実した研修会を行うことができました。

まず中新井先生より、「コミュニケーションが難しい」という場合、おおまかに言って3つのグループがあるのではないかという提起を受けました。それは、①自閉症の人たち②重度の障害を持っていて言葉のない人たち③話すことは十分できるのだけど、心が不安定で、いつも「心の居場所」を求めている人たち。

その中から今回は、自閉症の人たちをどう理解するのかを中心に勉強しました。自閉症と呼ばれる人たちの定義や特徴を学んだ後、ヘルパーさん一人ひとりから感想を出していただきました。次回以降も、引き続き中新井先生からお話を伺いながら研修会を進めていきたいと考えています。(まめやん)

第3回ヘルパー研修会…10月9日(木)16時30分～18時(予定)「コミュニケーションのむずかしい人たちのワークショップ」終了後、感想会をかねて行います。  
第4回ヘルパー研修会…11月のわくわく活動終了後(予定)

ショートステイだより  
カラオケしよう！  
ビールをのもう！

はじめまして。4月からショートステイのお手伝いをしています、マ・ツ・カです。よろしくお願いします。

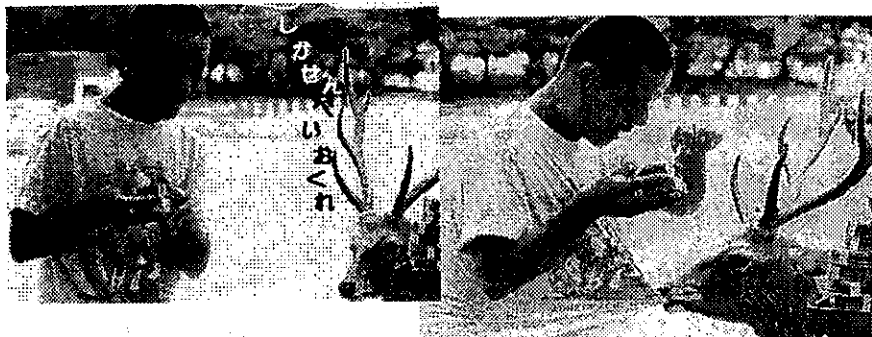
最初、ショートステイの介護者募集の話聞いたとき、夕方から朝までの

長い時間をどのように過ごせばいいのかな？と、ちょっと不安でした。しかし、スタートしてみると、まるで修学旅行か合宿旅行でもしているようで、とてもにぎやかな、楽しい日々です。

メンバーさんも、レンタルCD屋さんに行こうとか、カラオケしようとか、ビールを飲もうとか、おかしを作ろうとか、日を重ねるごとに、いろいろなアピールが出てきて、ショートステイをエンジョイしているのでは、と思っています。

これから、一人ひとりの時間をもっと大切に、今後の生活に結びつくようなショートステイになれたらいいと思っています。

(松家)



しかは しかせんべいをたべたくて、ぼくをおいかけまわした。しかにおいかけまわされて、ほんとうにおもしろい。またみんなでいきたい。(しみず)

GOOD MORNING **グループホーム“つばさ”のある朝** GOOD MORNING

つばさの朝は森さんのゴソゴソする音から始まる。毎朝6時前には起きる森さん。朝の日課、喫茶店のモーニングを食べるためだ。喫茶店が開くのは7時から。でも森さんは6時過ぎから店頭で待つ。マスターも毎度のことなんだろうが、6時半には店を開けてくれる。私も一度一緒に入ったことがあるが、出てきたのはトーストが2切れだけ。あの体でこれだけでは昼までもたないだろうと思うのだが、まあ私も朝食抜きは茶飯事なので他人のことはいえないか。

ほんのささやかな趣味(?)である喫茶店通いだが、以前こんなことがあった。ボーナスがでたので念願の腕時計(Gショック)を買った森さんだが、残り少ない所持金を見てガックリ。「時計買わなかったらもっと喫茶店行けたのに」とは本人の弁。これからは買物はもっと慎重にね。でもその時計かっこいいよ！

さて、喫茶店から戻ってくるとテレビをつけ、新聞に目を通す森さん(テレビ欄)。時計の針は7時10分。しかし肌勢さんはまだ夢の中なのであった。(梅本)

# 雑多度アップ!

喫茶店だというのに、パンジーのメンバーはショップにお茶を飲みに来て、大声で話をする。最初は「他のお客さんがいるから、小さい声で話してや。はずかしいわ」と言っていたが、どうもお客さんの方は、あまり気にしていないようだ。

しょっちゅう出会う常連のおじさんは、メンバーとすっかり顔なじみになり、「やあ、来たな!」と声をかけたり、話し込んだり、メンバーどうしの会話を楽しんだりしている。3人組のOLさんたちも、そんなことはものともせずショップにやってきて、おしゃべりをしている。

やっぱり、ショップパンジーの魅力は、この雑多なにぎやかさだ。上品なショップは似合わないのだ。9月、秋冬物の雑貨、古着も増えて、雑多度アップしたショップに、一度おこしてください。(よしだ)



今年4月より、週一のお手つだいで厨房デビューすることになりました。さて、その一日はといいますと、木曜朝、おさむ(新人です。よろしくお願いたします)と一緒にパンジーバス(車中は和気あいあい、とてもにぎやかです)に乗り、パンジー到着。さっそく新米の私を含む3人で献立を作ります。その間のベテランお2人のチームワークはすごいもので、メンバーさんの注文や諸々のことがすべて頭の中に入っているのです(私には覚えられない、どうしよう……。老化の始まりなのか?)。

そして、みんなの食事が終わると洗い物、食堂の掃除と続き、2階へ上がりショートステイのそうじのお手伝い、きゅうけいをはさみ、おやつを用意で時間切れ。一日があっという間なのです。

でも、ほんの一刻厨房から回りを見ると(これまた見通しがいいんです)パンジーでは多くの人々が、それぞれの部門でふれあい、個を生かしながら仕事に励んでいるんですね。その様子を見ながら人間て本当に一人では生きていけないな! 支えや和があってこそ生かされているんだなあ……と温かい空気、香りを感じています。

数年たった今、創思苑という花壇では色々な色彩のパンジーの花が咲き出していますね。おさむも、これからここに根を張り何色のパンジーの花を咲かせていけるのでしょうか。厨房の手伝いを楽しみながらそっと見守っていただけたいと思います。少しづつ子離れしつつ……。(西村千津子)

# ならひとあ い 奈良に人<sup>ひと</sup>に会<sup>あ</sup>いに行<sup>い</sup>って

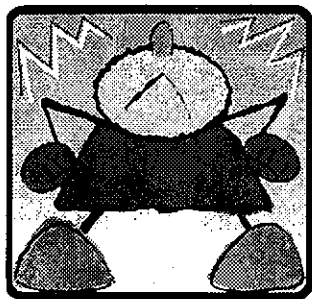


## 奈良県 部落解放研究集会に参加して

9月6日(土)と7日(日)、「奈良県部落解放研究集会」の分科会、「『共に生きる』たたかひの共有」に参加して講演をしました。1日目は知的障害者への虐待、年金の横取りがおこった滋賀県の「サン・グループ事件」について、2日目は「パンジーの元気が出るはなし」をしました。

障害者も健全者も、みんなが手をあげて自分の意見を言って元気になりました。メンバーと参加者の感想を紹介します。

### メンバーの感想



サン・グループ事件をとおして、いっしょに考えた

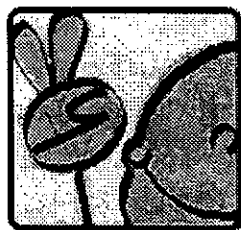
★ 和田のことをはなした。私はお金をとられたくない。なぐられるのもイヤなきもちがする。みんなの前ではなしをするのは、きんちょうしたけど、うまいことやれた。うれしかった。(とみた)

★ 和田に、はらがたつ。自分だけが健常者だと思って障害者からお金をとって。緊張したけど、自分の意見を言えた。(ひらいし)

### 自分の思いが言えてとてもよかった

★ 参加できてよかった。パンジーのメンバーが、手をたたいて、はげましあいながら発表しているのがよかった

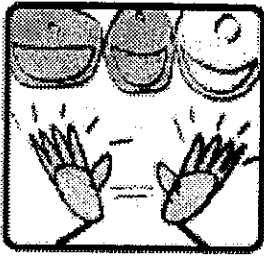
私は、途中で障害を持つようになったが、小さい頃から障害を持っている人は差別とかがあって苦労したんやなあと思った。私も障害者になって、以前は「保母をしているのか、えらいな」という目で見られていたが、障害を持つようになって、周りの目がガラッと変わったのをすごく感じる時がある。その時すごく腹が立つ。(くりあか)



★ 「アイムハッピー」をした。元気が出た。「元気の出るはなし」をして、奈良の人がいっぱいいてもりあがった。拍手がすごく大きかった。(いがらし)

★ はじめて奈良の講演に出て、まだかまだかと待ち続けているうちに、たくさんの方の前で意見を言うのがとても言いづらかった。やっているうちに一人一人の方のことを聞くことになれてきた。ほくは、うまく言えたと思う。(はだせ)

★ みんなではなしをした。はじめはなんだかてれちゃった。2回目はよろこんじゃった。さいごは、みんなで、ほくがいうのを応援してもらって楽しかった。2度と忘れないよ。(あおやま)



### 私も生き生きしている!

### 参加者より

● 買い物をして(パンジーの製品を)、発言をしても皆のパチパチに、じーんとききました。こんなふうの人にいっぱい感謝したりされたり、人をいっぱい応援したりされたりして生きてゆけたら、ステキだな。

● 皆さんの熱演で、健常者が一般的な説明をするより説得力がありました。この分科会の進行方法も皆さんの熱意が伝わりよかったです。

● 女だから、障害者だからという理由で、表面には出ないが、会話に見え隠れする差別に、ストレスがたまる一方の毎日です。どうして、自分の立場しか主張しないのでしょうか? 少しずつ相手の立場になって考えるようになったらお互いにもっとやさしくなれるのにと思うのですが



● 全質問ゆーたぞ。自分の気持ちをゆうと気持ちいい。みんなの話を聞くのは楽しい。人と私はちがう、ちがうからおもしろい。パンジーのみんなは生き生きしている。私も生き生きしている。I'm happy! 私はかっこいい!

● 自分自身、ノリについていけなくてくやしかった。パンジーのメンバーの話を聞こうと思っているのに、聞き取れなくて……。



前回の続きE君 (NO. 23ではDさんと書いたが、NO. 22で別の人に使用しているので訂正) について話そう。

昨年4月、私がパンジーに来た時、彼は頬や後頭を平手打ちする自傷行為のために、通所できずにいた。激しくなるとボクサーのような網膜剥離の危険があるという。休ませて、本人の思い通りの生活をしていると顔の青アザも目立たなくなってくる。お母さんは

今度こそ大丈夫と思  
って通所するが、し  
ばらくすると再発する。

二年間そんな繰返しの中で、彼は11時半頃通所、母も一緒に食事をする。午後からも母がつかず離れずパンジーにいて、自傷行為が激しくならないよう気を配るという毎日、心配でスタッフに任せられない様子だった。

7月、こんな状況についてお母さんから相談をうける。自傷行為はE君の自己表現であり、理解してもらえれば止まるという母。私は頭を叩く叩かないよりも、E君が母以外の人と安心して生活できるような関係づくりが急務と思う。そのためにはお母さんが側にいない方が良いのではと提案した。

自傷が止まる見通しのなさへの不満、失明の心配など葛藤は大きかったと思うが、お母さんは決意されたのだろう。以後正月休みまでE君はほとんど休まずに

通所する。

母はE君の表情や動作から、彼の要求や気分を察し、それを言語化する。正解だと彼は大きく「ウン」とうなずくのである。パンジーでも、スタッフのOが中心になって、食事や着替え等一人で行えることでも手伝いながら、言葉をかけていく。車での外出をやめて、作業室での居場所や仕事(してもしなくても)を一定にし落ち着いた生活を用意した。

※(これらの配慮は彼の要求や抵抗、気持ちの変化を理解しやすくするとも考えた)

E君を送ってきた母がすぐ帰ってしまう

うようになって、やはり彼

の自傷行為は激しくな  
った。頬は紫色から黒

ずんで、側についていても

つらい時期が続いた。叩く音が他のメンバーをイライラさせたりもした。でもこの時期一番耐えたのは本人とお母さんだったろうと思う。

叩きながらも彼の動きに変化が見られた。大きな声で「ママ」と言う。「お母さん帰ったね」「側にいてほしい?」

「必ず迎えに来るからね」などと応えるが、やっぱり「ママ」といって私を押す。「お母さんを選んで来てほしい?」には「ウン」とうなずく。また、いつも横で食事するOの後追いをしたり、Oの手をとって自分の身体を叩かせたりするようにもなった。

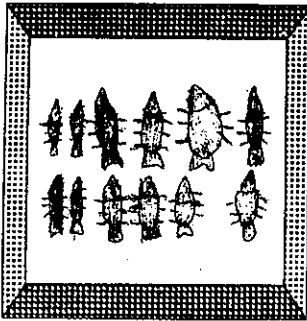
「親離れ」の様子が凝縮して見られたのは生駒ふれあいセンターでのワークショップだった。が、紙面の都合上、詳しくは次回になる。

## 親離れ、子離れ

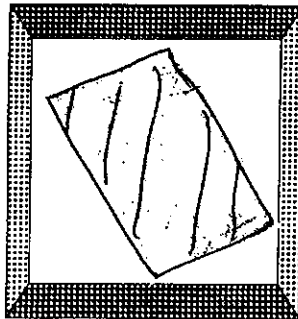
中新井 滯子



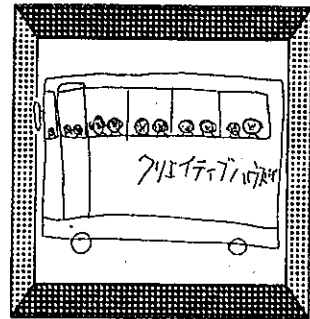
# 山本画伯の世界



えび



まぐる



パンジーバス

山本 雄介 (やまもと ゆうすけ) ・ ・ 1978年1月8日大阪に生まれる。

昨年度よりパンジーに通い、同時に作品「観覧車」を発表。その後、「トンネル」「ほし」「長崎屋のマーク」と次々に素早く繊細な傑作を生み出す。しかし、それらは共同製作との指摘があり、苦難の日が続いたが、母の「食べ物だったら何でも描きます」の一言により、先頃ついに単独作「まぐる」を発表。新たな世界を開花させる。

代表作「ギター」「ガチャピン」「えび」



## 野畑宏治の **すんばらしい映画**

### 第2回 「もののけ姫」

シカが みずうみで 水のんだ  
ところがおもしろかった。

仮面ライダー・アマゾンの子ども (松田洋二) が  
雲みたいなんにのって、木を殺した。お姫さまをたすけた。  
馬が 首を切った。



# 楽しい時間を一語にすこもう！

ガイドヘルパー物語

にしごり・はるよ

私がガイドヘルプ活動に参加するようになって2年半近くになります。ヘルパーさんの中でもいつのまにか古株のほうになってしまいました。月に1～2度のわくわく活動も楽しいと感じる余裕がちょっとは出てきたようです。

実際にやってみなければ分からないことが世の中にはたくさんあるんだと思います。障害を持つ人に対するたいした知識も持たずに、とにかく参加し続けてそう感じました。それに、結構「やればできるもん」です。このことは、ヘルパーだけではなくて、メンバーの人たちにも大切なことのようにです。



私たちガイドヘルパーはあくまでもメンバーさんのお手伝いという立場ではあります。けれど、ヘルパーがメンバーさんのお手伝いをすることが「できた」時の気持ち、メンバーさんがヘルパー外出したときに何か「できた」経験は、二人が（複数の時もありますが）一緒に過ごした時間の中での出来事なのです。もちろん失敗したり、言いたいことがなかなか伝わらなかったりすることだってありますが。そういったことも含めて一緒に

時間を過ごすっていうことは、大事なんじゃないでしょうか。

何か「できる」という経験は自信につながります。自信を持つことができれば余裕が出てきます。余裕が出てくると気持ちもゆったりして「楽しむ」ことができるようになります。この「できる」から「楽しい」への気持ちを出せるだけ多くのメンバーさんと共有したいのです。そして、「楽しく」生きるってことを実感していける、そんなわくわく活動にしたいなあと、今はこんなことを考えています。ちょっぴりエラそうになってしまいましたが、とにかくこれからも楽しい時間を一緒に過ごそう！

みんなで作ろう！第4回知的障害者全国交流集会

# みんなで静岡で話しあう会

11月23日(日)・24日(祝)  
焼津 青少年 自然の家

## スケジュール

1日目 ★全体会Ⅰ「たちあがろう！」

—— サン・グループ事件からかんがえる」

★分科会①「楽しく幸せにくらすためには？ 自分をまもるためには？」

★パーティー デートゲーム・ダンスパーティー

2日目 ★全体会Ⅱ「結婚してる なかまのはなしをきこう！」

★分科会② じりつ・れんあい・しごと・しゅみ・おかげのつかいかた

けんこうかんり・ガイドヘルパー・ピアカン・けっこん

施設のでかた・ピープルファーストのつくりかた・おや、

かぞくとの関係・自分に自信をつける・よかのすごし方

★全体会Ⅲ「わたしたちの意見をみんなにつたえる

—— ピープルファースト宣言」

ことして4回目をむかえる「知的障害者全国交流集会」。全国のなかま  
たちがあつまって、自分たちのことをはなしあったり、勉強会をしたり  
ダンスパーティーやデートゲームで、もりあがったり・・・今年も静岡で  
いろんなことをはなそう！友だちをつくろう！元気になろう！  
自分たちのために、みんなで静岡にいこう！！

さんかひ

全体会・分科会1500円 パーティー3000円 宿泊1500円

おもろしごみ・おといあわせ

知的障害者全国交流集会実行委員会・事務局

富士見作業所内・ピープルファースト静岡 TEL (054) 288-0140

**書き損じハガキ、切手(未使用)を待っています!**

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

**ご協力ありがとうございます**

◀後援費を振り込んでいただいた方▶ (敬称を略させていただきます)

竹川節子 K・N 佐々木勉 大槻小浪 滝本勝代 飯田芳春  
石崎邦彦 柳本文貴 吉田和子 大谷 強 阪本百合

◀カンパの寄付をいただいた方▶

墳下千里 三崎純夫 M・S 久保田卓 美濃弘和 前田公子  
木村多加緒 岡本多恵代 田中房子 滝本勝代 石崎邦彦 小林清次郎

◀書き損じハガキをお送りいただいた方▶

西田美知子 武田美佐子 村上八重子 徳田早苗 高木誠子 中藤加奈子

◀外へ飛び出すためのカンパをいただいた方▶

野上温子 古賀政行



**パンジーのメンバーが講演に行きます!**

障害者も健常者も共に暮らしやすい社会について、一緒に考えませんか。学校の教師や生徒、知的障害の人々、ヘルパー対象などどこへでもかけてゆきます! 詳しくはパンジーまでお電話ください。

【9月の実績】奈良県部落解放研究集会



**1998年 ピープルファースト世界大会inアラスカ**

のためのカンパをお願いします。

世界中の知的障害者が集うピープルファースト世界大会に参加したい! そんな熱い想いととも、「どらえもん会」が中心となって、旅費のために貯金をはじめました。

現在はカンパや講演の謝礼などを中心にして、少しずつ貯めています。しかし、まだまだ目標には達していません。そこで、ぜひ、カンパのご協力をおねがいします。

パンジーでは後援会員を募集しています。



賛助会員	1口	1か月	500円
本会員	1口	1か月	1,000円
特別会員	1口	1か月	5,000円
郵便振替番号	00950-1-300551		

刈イティブハウス「パンジー」

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8  
刈イティブハウス TEL:0729-63-8818  
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市城東区東中浜2-10-3  
緑橋グリーンハウス1F・7F企画気付